

東海国立大学機構「量子拠点設立式典記念シンポジウム」のお知らせ

「量子」とは、物質を形作る原子や、さらに小さい電子、中性子、陽子などの総称。その特性を活用した技術は、次世代のコンピュータやセンサーなどへの応用が期待され、未来社会に欠かせない技術として世界中で研究が活発化しています。

東海国立大学機構における動きとして、2023年5月に内閣府 量子技術イノベーション拠点の1つとして認定を受けました。また、名古屋大学および岐阜大学の連携を強化する連携拠点支援事業として、2024年4月から、東海国立大学機構「量子フロンティア産業創出拠点」(略称 Q-BReD)を開始しました。

それに伴い、名古屋大学では、未来社会創造機構に「量子化学イノベーション研究所」を、岐阜大学では、医学部に「附属量子医学イノベーションリサーチセンター」を設置しました。これらの組織を中心にして、量子技術の社会実装にむけた研究を大幅に強化しています。

この度、これら量子拠点の設立を記念し、式典と講演からなるシンポジウムを開催しますので是非ご参加ください。

【日 時】 令和6年12月9日(月) 13:00~17:00(開場 12:30~)

【会 場】 名古屋大学東山キャンパス 坂田・平田ホール

【備 考】 参加無料・要事前申込(定員 200名)

◆プログラム◆

第一部 式典(13:00 ~ 14:00)

第二部 記念講演会(14:15 ~ 16:00)

基調講演1「量子生命科学の最前線と東海国立大学機構・QST 拠点間連携」

馬場 嘉信(量子科学技術研究開発機構(QST)量子生命科学研究所長)

基調講演2「量子・AI 融合技術ビジネス開発グローバル研究センターの挑戦」

村山 宣光(産業技術総合研究所 副理事長/量子・AI 融合技術ビジネス開発グローバル研究センター スーパーバイザー)

第三部 拠点構成員ポスター発表・意見交換会(16:00 ~ 17:00)

◆お申込み◆

右のQRコード、または以下の【お申込みフォーム】より事前参加登録をお願いします。

<https://forms.gle/5VWxHjzfV6qBxBke8>



[「量子拠点設立式典記念シンポジウム」チラシ](#) [はこちら](#)